

2010年「ヨーロッパ文化首都」ペーチ

「観光まちづくりの国際比較」シンポジウムの報告を準備するなかで、ヨーロッパ文化首都とハンガリー第5の都市・ペーチに興味をもった。シンポジウムを企画した山本明代さんによると、ヨーロッパ文化首都は、EUの前身のヨーロッパ共同体 ECの時代に「ヨーロッパ文化都市」として始められた。1985年にギリシャのアテネで第1回が開催され、その後1999年にヨーロッパ文化首都と名称を変えた。ヨーロッパの「文化首都」として都市を選定し、交流や文化観光を通じてイメージアップ、経済活性化をはかる取り組みである。

2010年のヨーロッパ文化首都に決まっているのが、ドイツのエッセン、トルコのイスタンブール、そしてハンガリーのペーチである。シンポジウムで報告したペーチ大学地理学研究所地中海東部・バルカン研究センター長



のパプ・ノルベルトさんによると、立候補書類によるペーチの文化首都コンセプトは次のようである。「生活であふれた広場の街」 中規模都市は大小都市とは違う、もう一つの都市生活のモデルを提供する。「文化遺産と文化革新の街」 2000年の伝統をもち、文化が生まれる街。「多文化の街」 ローマ・トルコ・ドイツ・クロアチア・ハンガリーの文化遺産、今日さらに国内のドイツ系・クロアチア系・セルビア系・ロマ系・ルチニア系・ブルガリア系・ギリシャ系の文化的中心。「地域の街」 地方分権・地域の特色を重視する街。



ペーチはこのようなコンセプトで2010年ヨーロッパ文化首都に選ばれ、地域の歴史と

文化と観光まちづくりを有機的に結びつけ、「国境・境界なき都市（The Borderless City）」として、文化的多様性を有する地域文化を世界に発信している。名古屋も2010年に開府400年を迎え、COP10も開催される。「環境首都」とともに、アジアの「文化首都」をめざした持続可能な都市政策を期待したい。

(2008年11月24日 記)